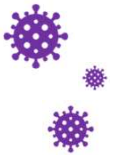


岩手県で高病原性鳥インフルエンザの疑似 患畜が確認されました！！（国内41、42例目）

- ・岩手県盛岡市 41例目：採卵鶏約36万羽 42例目：採卵鶏約30万羽
- ・今シーズン岩手県では1月2日に1例目の確認以後4例目・5例目

高病原性鳥インフルエンザ侵入防止対策の重点事項

対策のポイント 農場における発生予防対策



1 野鳥・野生動物の鶏舎内への侵入防止

□防鳥ネット

- ・2cm角以下の網目の防鳥ネットを、上から覆うように、ゆったりとたらすように張りましょう。
- ・屋根と柱の境等の小さな隙間を塞ぎましょう。
- ・ネットの網目が2cm以上の場合は2重にするなども有効です。
- ・鶏卵・鶏糞の搬出口からも侵入がないか確認し、隙間のないよう塞いでください。

2 農場及び農場周縁の消毒

□農場への消石灰散布

農場周囲への消石灰散布は、高病原性鳥インフルエンザに対する消毒効果とともに、ネズミなどの野生動物に忌避効果がある(嫌がって近寄らない)、またネズミなどの野生動物が侵入したかどうか、どこから侵入したのかが足跡などで分かりやすくなります。

- ・鶏舎周辺及び農場敷地周縁へ定期的に2～3m幅で消石灰を散布しましょう。
(消石灰の消毒効果は環境に依存して2週間ほどでなくなります。これは見た目では分かりません。特に雨の降った後には散布したばかりでももう一度散布し直すようにしてください。)
- ・土壌には20%程度の水分を含んでいるので直接散布でも消毒効果が期待されますが乾燥している場合やコンクリート上への散布は、消石灰1袋(20kg)につき、じょうろ1杯程度(3～4L)の水の散布が有効です。
- ・飛散すると水存在下では強アルカリ性になり危険なので、散布場所によっては粒状の消石灰も検討してください。ただし使用後の消石灰は無害であり、他の消毒剤と比較して環境負荷は小さいです。

異状をみつけた場合には直ちに山梨県東部家畜保健衛生所まで
電話・・・055-262-3166 FAX・・・055-262-3108
夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5535-8005・090-5544-7868